

開院後、まだ間もないですが、当院で手術を受けて頂きありがとうございました。  
2018年の白内障手術の総括です。

● 全例(100%)、角膜切開にて手術を施行させて頂きました。

※角膜切開は、いくつかある切開法のうちの一つで、手術侵襲が小さく、惹起乱視（手術によって新たに生じる乱視）が最も小さい切開法です。

● 少しでも良好な視機能がえられるよう、当院では乱視矯正眼内レンズ（Toric IOL 保険適応）を積極的に使用しており、2018年は約36%の方に使用させて頂きました。

● 眼内レンズは多数のメーカーのがありますが、当院ではより見え方のクオリティが上がるよう、京都府内・広島県内の眼科専門病院で最も高く評価されているメーカーのレンズを使用しております。

また、下記のように、重篤な合併症なく無事に2018年を終えることができました。  
2019年も、院長、看護師、スタッフ一同、手術にあたって全力を尽くしていく所存です。

術後眼内炎	0%
後囊破損	0%
チン小帯断裂	0%

※ 多焦点眼内レンズ(保険適応外)については、眼の状態によって向き不向きもあり、2018年12月現在、当院では扱っておりません。